



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2024 8 月号

Vol.162

毎月1回発行(通巻162号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

第13回「全国医療経営士実践研究大会」
福岡大会医療経営に関する
「研究助成」最終報告に注目しよう!全国大会にて行われる「医療経営に関する研究助成」最終報告。今年は2名の医療経営士が指定課題に基づく研究の成果を報告する。
医療経営士が何に注目し、どう取り組み、どのような結果となったのか。ぜひ注目していただきたい。「研究助成」採択者2名が
それぞれの実践を報告

毎年、全国大会で実施される「医療経営・指定課題部門に関する研究助成」事業の採択者による最終報告。今大会では第6回(2023年度)の同事業において「医療経営におけるDX」で採択された金城悠貴氏(済生会横浜市東部病院DX推進室副室長/医療経営士2級)と、「医師、看護師等人材の確保対策」で採択された菊岡正芳氏(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所研究員/医療経営士3級)2名が登壇し、その研究の成果を報告する(表)。

本事業は2018年度よりスタートしており、研究活動のさらなる発展および地域医療や医療政策への積極的な関わりを推進し、その研究内容を医療界・地域社会に還元することを目的としたもの。採択された研究については原則1年間を研究期間とし、採択年中の中間報告と翌年に最終報告を兼ねた発表が義務づけられ、発表はいずれも全国大会の会期内に行われる。

金城氏のテーマは「医療機関でのデジタイゼーションによる業務改善を加速化させるための業務フロー可視化工程の効率的方策の検討」。医療機関内のDXを進めるうえで大切な業務フローの可視化による可視化。それが医療現場ではなかなか難しいという現状を踏まえ、生成AIで行うツール(Flowsight)を開発し、7つの医療機関で数か月間試用した結果と、研究会等におけるツールの紹介とディスカッションを通して得た結論について報告を行う。

視化工程の効率的方策の検討」。医療機関内のDXを進めるうえで大切な業務フローの可視化による可視化。それが医療現場ではなかなか難しいという現状を踏まえ、生成AIで行うツール(Flowsight)を開発し、7つの医療機関で数か月間試用した結果と、研究会等におけるツールの紹介とディスカッションを通して得た結論について報告を行う。

菊岡氏のテーマは「薬剤師のハラスメントを受けている実態とWell-Beingの関連性に関する調査研究」。薬剤師のハラスメントおよびWell-beingの実態調査を行い、それぞれの実態を明らかにするとともに、ハラスメントとWell-beingの関連性を明らかにするという試みについての報告となる。

なお、本報告については、選考委員長である尾形裕也氏(九州大学名誉教授)が座長を務める。

自院に持ち帰って取り組む実践へのアクションを!

表 「医療経営に関する研究助成」(2023年度)最終報告

委員長 尾形裕也氏(選考委員長/九州大学名誉教授)

課題①「医療経営におけるDX」

「医療機関でのデジタイゼーションによる業務改善を加速化させるための業務フロー可視化工程の効率的方策の検討」
登壇者 金城悠貴氏(社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院DX推進室副室長/医療経営士2級)

課題②「医師、看護師等人材の確保対策」

「薬剤師のハラスメントを受けている実態とWell-Beingの関連性に関する調査研究」
登壇者 菊岡正芳氏(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所研究員/医療経営士3級)

足に悩む医療機関において、働きやすい職場づくりに向けた取り組みは大いに参考なるだろう。

参加される皆さまには報告を聞くだけでなく、会場でも同じ医療経営士である両名との交流を持ち、より理解を深め、自院に持ち帰って実践するためのヒントを得ていただきたい。ぜひ空き時間も積極的に活用され、新たなネットワークを構築していただきたい。

また開催前日の11月30日には医療経営士の交流のための場として「前夜祭」も開催する予定である。大会と合わせての参加をお待ちしている。

大会のプログラム等、最新情報は大会特設サイトに随時更新しているのでチェックしていただきたい。

第13回 全国医療経営士実践研究大会 福岡大会

医療経営士の働き方が病医院を
変革する ~今、求められるマネジメント能力と
具体的実践方法~開催日
2024年
12月1日
日大会運営委員長 矢野正子 日本医療経営実践協会九州支部支部長/
聖マリア学院大学名誉学長

会場 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション

※開催前日の11月30日(土)に懇親
会(前夜祭)を行います。詳細はホ
ームページでご確認ください。



生成AIを使いこなせる医療経営士をめざそう!

国が先導する医療DXがなかなか進まない一方で、目を見張るような進歩を遂げている分野が生成AIだ。医療機関においてもその活用に注目が集まっている。生成AIの現状に詳しい東日本税理士法人代表社員で医療経営指導士の長英一郎氏にお話を伺った。

何のために使うのかを明確にすることがスタート

医療機関で生成AIを使うのかを考えるときに大切なのが、「問題解決のために何が必要か」という視点です。とりあえず入れてみて「さあどう使おうか」ではなく、生成AIのポテンシャルを十分に活かすこともできないからです。

直近の話では議事録の作成に革命が起きていて、一瞬で議事録が作れるようになってきました。生成AIでどう便利になるのか、という話を病院にするときに例として挙げると非常に反応がよく、その後話を聞いてみると「すぐに導入して楽になった」という声を聞きます。

ただ議事録の作成はおそらく全医療機関共通なので典型的なものとして例に出しているだけであって、病院によって必要とする機能は異なります。例えば給与規定や就業規則を読み込ませてポットを作るといった話をする、すごく反応が良い病院とそうでない病院があります。本当に病院によってニーズはさまざまです。まずは自分たちの病院にとって何が必要なのか、どういう機能があれば

業務改善につながるのかを考えることがファーストステップです。

医療経営士の役割はどのように変わるのか?

現在の生成AIでは、院内独自のルールも含めてネット上に出ていないような情報をあらかじめ学習させて、そこからの範囲だけで回答させるというのがトレンドになってきています。

例えばメールの返信ひとつとってみても文章や季節の挨拶等も含めて、その病院らしい文面を生成AIが考えてくれます。レセプトの請求にしても病院のローカルルール等も読み込ませれば十分に対応できます。

学習させるといってもプログラミングの知識も不要です。普段からインターネットに触れている方であれば問題ありません。ただひとつ注意したいのは、実際に使っていくとなると英語のサイトがほとんどですから、そこに抵抗感を持たないようにすることは必要でしょう。

医師の事務作業補助の業務に関しても、診察室での会話がSOAP形式で診療録に反映されるというもので、本当に事務職員がいらなくなってくると思います。そう

ったときに医療経営士として空いた時間を何に使うかが大切になってくると思います。

そうなるコミュニケーションという観点で考えますが、こちらの面でもAIが人を凌駕していく可能性があると考えています。音声対応も以前は何秒か時間がかかっていたのが、今では自然な会話のレベルになってきており、例えば受付の電話対応を生成AIで代替することで、職員の業務負担の軽減だけでなく、予約の電話がかかりやすくなるといった患者さんにとってのメリットにもなってきます。これからは本当に「人対人」でなければならぬ部分は何かを考えると、

今後、生成AIを使っている病院とそうでないところの差はどんどん広がっていくでしょう。世の中の流れがすごく速いので多少の時差はありつつも、ここ2〜3年で相当変わるだろうと思っています。医療経営士の皆さんも生成AIを使いこなせるような方でないと、これから病院のなかで仕事がなくなるかもしれないということを念頭に、働き方を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

今後は、生成AIを使っている病院とそうでないところの差はどんどん広がっていくでしょう。世の中の流れがすごく速いので多少の時差はありつつも、ここ2〜3年で相当変わるだろうと思っています。医療経営士の皆さんも生成AIを使いこなせるような方でないと、これから病院のなかで仕事

T O P I C S

みやぎ仙台ネットワークが生成AIの最先端を学ぶ

日本医療経営実践協会東北支部みやぎ仙台ネットワークは8月9日、医療経営指導士である東日本税理士法人代表社員で長英一郎氏を講師に迎え、オンライン研究会「生成AIが医療・介護に与える影響」を開催した。関心の高いテーマとあって、全国から約70名が参加した。

長氏は実際に生成AIで作成した文書や財務分析の結果等を例示しながら、「現在の程度のレベルになっているのか」を伝授。学会会場へのアクセスを探索した場合と生成AIに聞いた場合との比較等の実演を通してその有用性を説いた。

さらに、すでに導入している医療機関での活用例も示しながら、生成AIの有用性と可能性を解説。OpenAIだけでなくさまざまなサービスがあることを示し、それぞれに強み/弱みがあるため、有料/無料も含めて用途によって使い分けることが重要であると強調した。

講演の最後には今日の音声その場で読み込ませ、実際に議事録が生成される様子を実演。リアルタイムで行い、参加者からは感嘆の声が上がった。講演後の質疑応答でも多くの質問が寄

せられ、電子カルテとの連携についての質問に対しては「数年すれば電子カルテに生成AIが実装される可能性も考えられる」とさらなる進化も示唆した。

終了後のアンケートでは「生成AIの進歩に衝撃を受けた。当法人でも積極的に導入しないと置いていかれるのではないかと焦っている」「実際に活用している場面を見てもさすががよくわかった」とにかく医療介護業界は最近人が採れないので少しでも効率化をしなければならぬなかで、いろいろ活かしたいと思っただけで、導入に向けた前向きな反応が多く見られた。

今回のみやぎ仙台ネットワークは10月18日、社会医療法人加納岩事務局長の宮沢圭一氏を講師に迎え、「事務部門のマネジメントと人材育成」をテーマに開催する。

業務	ChatGPT	Claude	Google AI Studio	Perplexity
文章作成	○	○	△	△
PDF要約	○	○	○	○
写真のテキスト化	○	○	○	○
画像イラスト作成	○	○	○	○
財務分析	△	○	○	△
院内規程Bot	○	○	○	○
音声からの議事録作成	○	○	○	○
情報検索	△	○	○	○

生成AIの種類とそれぞれの特性をわかりやすく解説した長英一郎氏

第3回多摩研究会開催

医療DXを正しく理解することで 今から進むべき道筋を明らかに



日本医療経営実践協会関東支部多摩研究会は7月26日(金)、医療法人社団永生会南多摩病院会議室において3回目となる研究会「医療経営士が知っておきたい医療DXの正しい進め方」を開催した。講師に合同会社メディカルソリューションパートナー代表の兵藤敏美氏を迎え、オンライン参加も含め約30名が参加した研究会の様をお伝えする。

いくら医療DXが進んだとしても 病院の経営改善にはつながらない

兵藤氏は冒頭、「なぜ今医療DXが求められているのか」という背景から解説。2020年から2040年で、65歳以上は約250万人増えるが生産年齢人口は1500万人以上減るといふ国の試算を提示し、「最近病院に人が入ってこないという話を聞くが、生産年齢人口が減っていくのはこれから」と参加者に注意を促した。その対策として働き方改革と地域医療構想が進められているが、現場ではほかにもやるべきことが山積みのなかで、国は医療DXが有効ではないかと考えていると話し、「オンライン資格確認の導入は患者情報の一元的管理を可能とする、全国医療情報プラットフォーム構築に向けた医療DXのインフラづくりだった」と指摘。関連の国の予算等を提示しながら、「国はこれだけお金もかけているので、やらないという選択肢はない。これはもう未来のことではなく、今のことなんだと理解して対応していく必要がある」とした。

医療DXの中身については、「要は標準化してデータを集めて、それを有効活用

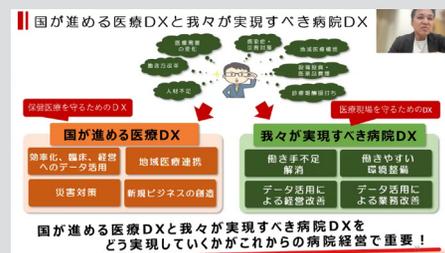
することで国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように社会や生活の形を変えることであって、『医療機関のために』という視点がないことを理解しておく必要がある」と注意を促した。そのうえで、「働き手不足の解消や働きやすい環境整備、データ活用による経営改善や業務改善といった我々がやるべき医療現場を守るためのDXは別物」とし、それを「病院DX」と定義、目的がそもそも違うことを理解しながら両方実現するためにやっていく必要性が出てくると述べた。

病院内でDXを進めていくためには 今のままの組織では難しい

具体的に病院DXを実現させるための糸口として、兵藤氏は「意識改革」「業務の見直し」「人材育成」「予算の確保」の4点を紹介。「意識改革」では過去からの積み重ねで未来を考えるのではなく、あるべき姿を描いたうえで、そうなるために今からどうやっていくかを考えていくというマインドチェンジをする必要があるとし、院長や事務長といった経営層はもちろん、医療経営士にもそのような意識改革が不可欠だと説いた。

また「予算の確保」については、「医療機関は厚労省の補助金は意識しますが、総務省やデジタル庁管轄のものは見落としがち。そういうところをしっかりとアンテナを張っておくことが必要」と強調。さらに、「クラウドファンディングや共同購入、サブスクリプションサービスの活用等も考えながら、しっかりと整備計画を立てていくことが経営としては重要なのではないかと述べた。

最後に、「DXは目的ではなくてあくまで手段。これから働き手が不足するなかで、医療を継続していくために病院の人員を守れる環境を整えていく手段としてしっかりと使えるようにすることが大事」と医療経営士へメッセージを送り、講演を締めくくった。



「医療DX」と「病院DX」の違いを説いた兵藤氏



最新医療経営

最新情報を踏まえ新たな病院像を描く「経営の時代」の羅針盤
PHASE3
フェイス・スリー

9月号
好評発売中!!

巻頭特集 病院経営のプロ参謀に聞く! 生き残る病院7つの特徴

新型コロナウイルス感染症後、病院経営を取り巻く環境は厳しさを増している。機能や規模の大小を問わず、岐路に立たされている病院は少なくない。その一方で、地域で確固たる存在感を示し続けている病院も少なくない。両者の違いは果たしてどこにあるのか。その違いを見極めるポイントについて「病院経営のプロ参謀」に聞いた。

詳細・ご購入は
コチラ



事務局 掲示板

第13回全国大会福岡大会のポスターが完成
掲示していただける会員の方を募集中

第13回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会のポスター(B2サイズ)が完成しました。今年もおおきてつお先生にイラストを描いていただいています。こちらを掲示していただける会員の方を募集します。

ご希望の方は「全国大会ポスター希望」と件名をつけ、お名前、認定登録番号、送付先住所、電話番号、必要枚数を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。

【ポスターのお申し込み】E-mail: info@jmmpa.jp

1級資格認定者のみに許された特権
医療経営指導士の制度を活用しよう

当協会では医療経営士1級の方が申請できる「医療経営指導士」の制度を設けています。協会への登録申請により、「医療経営士」「医療経営指導士」の名称を冠した試験対策

講座や研究会・講演会の主催が可能となり、事業に伴う収益を得ることも可能。資格要件や申請方法の詳細については当協会ホームページでご確認ください。

「医療経営指導士」制度について

<http://www.jmmpa.jp/support/shidouushi/>

PICK UP 研究会

北海道支部

経営視点で考える医療DX事例について

地域医療連携推進法人のDX

～湖南メディカル・コンソーシアムの取り組み～

超高齢社会の到来や労働生産人口の減少といった背景から、医療分野でもDXへの期待が高まっています。医療経営士の間でも非常に関心が高く、全国の地域支部でも医療DXをテーマとした研究会が活発に開催されていますが、この度北海道支部においても開催が決定しました。

本研究会では、地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアムの理事として、そして社会医療法人誠光会の副本部長として、デジタルを通じた革新的な取り組みにより、経営をV字回復させた蔭山裕之氏を講師にお迎えします。具体的な取り組みの成果やそこから見えてきた課題、そしてこれからの展望をお話しいただきます。

会場開催のほか、全国からオンラインでもご参加いただけます。会場ではセミナー終了後に懇親会の開催も予定しておりますので、ぜひご参加ください。

【開催概要】

- 日時 2024年8月31日(土) 16:30～18:00
※セミナー終了後懇親会を予定
- 講師 蔭山裕之氏(社会医療法人誠光会法人本部副本部長/地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム理事)
- 会場 北彩都病院6Fホール(旭川市宮下通9-2-1) + オンライン
- 参加費 会員(医療経営士or道北医療経営NW会員) 1,000円/一般1,500円
- お申込み・お問い合わせ先
日本医療経営実践協会北海道支部事務局
(株式会社日本医療企画北海道支社内)
TEL:011-223-5125
Mail:y-yokoo@jmp.co.jp
w-ashizaki@jmp.co.jp
※会場および当日のお問合せは、道北医療経営ネットワーク事務局(医療法人仁友会本部・森まで) TEL:0166-26-6411)

蔭山裕之氏



日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
8月31日(土)	北海道	地域医療連携推進法人のDX ～湖南メディカル・コンソーシアムの取り組み～	蔭山裕之氏(社会医療法人誠光会法人本部副本部長/ 地域医療連携推進法人湖南メディカル コンソーシアム理事)
9月5日(木)	九州	医療経営士南九州支局研究会 「外科医が取り組む国家戦略特区実証事業 ～なぜ、調剤業務の一部外部委託か?～」	狭間研至氏(ファルメディコ株式会社代表取締役社長)
9月12日(木)	東海	静岡東部医療経営研究会 「地域医療介護まるごとシステム向上を考える」	田中賢司氏(岡村記念病院、医療経営士2級) 山田知弘氏(三島中央病院、医療経営士3級) 合同会社セイコーオゾン
9月28日(土)	関西	第38回関西医療経営勉強会 「診療報酬改定が及ぼす病院連携と退院支援への影響」	渡鍋宏史氏(医療法人なごさ会 グループホーム白馬)
9月末まで	関西	“イチ”からわかる 介護経営オンライン塾 ※第1回～第4回の講義をアーカイブ配信	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ) 熊田圭佑氏(Meister株式会社代表取締役)
10月18日(金)	東北	第24回みやぎ仙台ネットワーク 「事務部門のマネジメントと人材育成」	宮沢圭一氏(社会医療法人加納岩事務局長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

受験エントリー

8月29日(木)
まで受付中!!

同僚や
お知り合いの方に
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **10月20日**

2024年

受験エントリー期間 **8月1日(木)～8月29日(木)**

受験料支払締切日 **8月30日(金)**

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

第43回「医療経営士3級」 第28回「医療経営士2級」

受験料 ※手数料・システム 利用料別途	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の 制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、 本協会正会員
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇 ※2024年7月現在	

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。